



編集・発行／日本共産党伊勢崎市議団 〒372-0032 伊勢崎市北千木町 2087 Tel.25-4854 / fax24-8204  
ホームページ [www.jcp-isesaki.net/](http://www.jcp-isesaki.net/) メールアドレス [sigidan@jcp-isesaki.net](mailto:sigidan@jcp-isesaki.net)

## 「これで飛行機が落とせるの」中学生職場体験



自衛隊新町駐屯地

定例会が11月30日から12月20日まで開かれ、北島元雄市議が一般質問し、長谷田公子市議がいじめ問題等について質疑しました。

子供たちの勤労観、職業観を育てるために、中学2年生を対象に市内604事業所の協力で、5日間程の職場体験学習が行われています。

### 自衛隊員応募激減

大震災の救援活動で脚光を浴び、応募者が増えた自衛隊員募集でしたが、安保法制の影響で昨年度は応募者が2割も減りました。

安倍内閣成立後の3年前から一部学校の体

験先に、自衛隊も入り、削除されましたが、体験内容が群馬自衛隊ホームページに紹介されていました。

### 武器使用の模擬体験

子どもたちの写真と一緒に、「これで飛行機が落とせるの」「追従訓練開始」

「見ている方向にミサイルが」「近距離ミサイルの操作要領を習っています」等のコメントが紹介されています。

職業としての自衛隊は否定しませんが、果たしてこのような武器を扱う体験が、中学生の体験学習にふさわしいでしょうか。

安保法制によって自衛隊のための組織から、日本が

攻撃を受けていなくても海外で戦争する軍隊に変わり、隊員は殺し殺される戦争に巻き込まれること

### 自衛隊職業体験実施状況

年度	学校	参加人数
2014 (H26)	二中	8人
2015 (H27)	二中 境西中	11人
2016 (H28)	二中 境西中	5人

体験会場

- 自衛隊新町駐屯地
- 自衛隊相馬原駐屯地
- 陸上自衛隊広報センター

(埼玉県朝霞市)

広報センターでは、「実物の戦車やヘリコプターに直接触れられるほか、飛行シミュレーションの操作体験、隊員の服装や装備の装着体験もできる」といいます。

になりました。

### 自衛隊のPR活動に学校が協力?!

職場体験学習は隊員募集の重要なPRの場となり、送迎や昼食付きで大歓迎されています。

体験紹介で「将来は自衛隊で決まり」とまで書かれており、隊員募集と職場体験がリンクしていることが解かります。

軍国主義教育のもとで子ども達を戦争に駆り立てた戦前の反省に立って、戦後の民主教育が始まりました。

安倍内閣が、再び日本を戦争する国に変えようとしている政府の動きに沿うかのように、学校を通して自衛隊の体験学習が「遊びながら学べます」とゲーム感覚で子どもたちに近づいてくることも多いと思います。

このように学校教育としては大変問題のある体験学習を見直すよう求めましたが、教育長は「現場の担当者が、先方と十分相談しながら行っている。」との答弁を繰り返すだけでした。